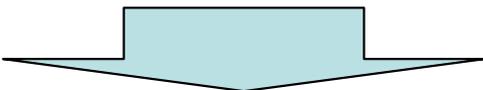
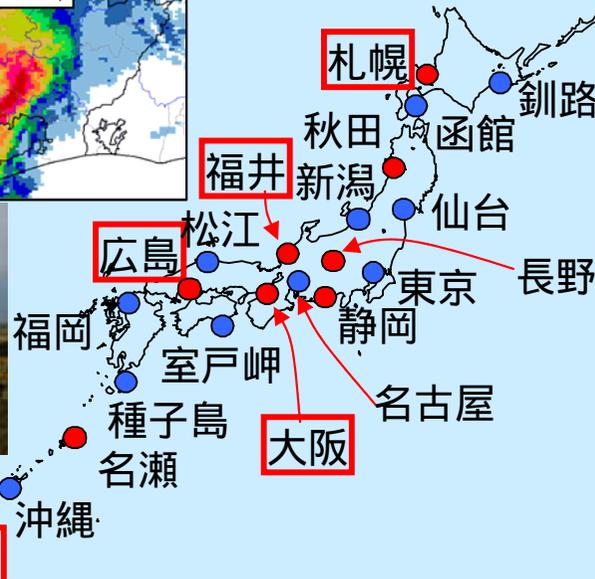
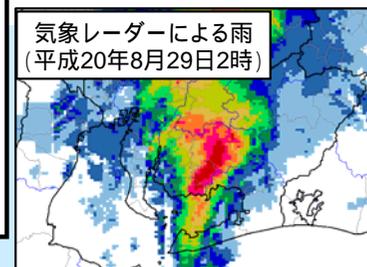


気象ドップラーレーダーの整備と観測間隔の5分化

- 短時間強雨が頻発化、全国各地で集中豪雨や局地的大雨による被害が多発 (神戸市都賀川、東京豊島区雑司が谷、平成20年8月末豪雨など。)
- 豪雨による災害リスクは今後益々増大
特に都市域では豪雨による被害が拡大しやすい



愛知県岡崎市付近での集中豪雨



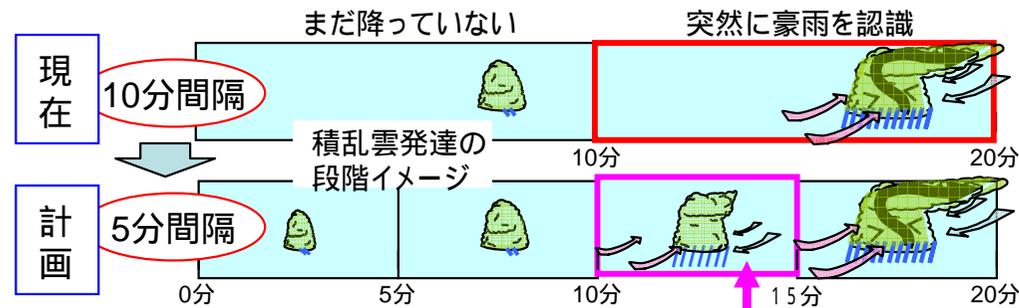
風の立体観測の手薄な都市域の気象レーダーを重点的にドップラー化(全国5箇所:札幌、福井、大阪、広島、石垣島)し予測精度向上に寄与

(参考) - 気象レーダーの現状

ドップラー化済み	: 11箇所
ドップラー化未措置	: 9箇所

観測頻度を2倍(5分間隔)に能力アップ(全国20箇所)し監視能力向上に寄与

●: 気象ドップラーレーダー
●: 一般気象レーダー



急速に発達する局地的大雨・突風などの可能性をより正確・早期に把握し伝達